

令和 3 年 度

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める

要 望 書

泉州市・町関西国際空港推進協議会

令和4年1月17日

関西エアポート株式会社
代表取締役社長
山 谷 佳 之 様

泉州市・町関西国際空港推進協議会
会 長 阪 口 伸 六

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める要望書

平素は、当協議会の諸活動の推進に格段の御高配と御指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、これまで、地元泉州9市4町におきましては、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、関西国際空港の発展と、空港周辺の良い環境づくりに取り組み、臨空都市圏にふさわしい、泉州地域の発展に向けたまちづくりを進めてまいりました。

関西国際空港においては、貴社による関西3空港の一体運営などの効率的かつ戦略的運営により、旅客数は好調な伸び率を記録し、関西経済全体の活性化や成長の牽引役として、更なる期待をされているところであります。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により、令和2年2月以降は各国における出入国制限をはじめ世界経済の混乱の影響を受け、令和2年度の総旅客数が前年度比92%減になるなど、現在も航空旅客数は大きく減少し、大変厳しい状況が続いております。

一方で、国際航空貨物については、ワクチン特別輸送体制の構築や24時間空港の強みを活かし、旅客便で運ばれていた貨物を貨物便で代替輸送することにより、令和3年度上期では、貨物便の発着回数が開港以来で最高になるなど、国際航空貨物の流通に大きく貢献しており、コロナ禍においても、関西国際空港が国際社会・国際経済において主導的な役割を担い、その優れた機能と柔軟性が再認識されたものと捉えております。

このような状況の中、令和3年5月から、関西国際空港の第1ターミナルリノベーション工事が本格的に着工するなど、「2025年大阪・関西万博」、IR誘致等の国際的イベントの開催などに向け、アフターコロナを見据えた、訪日外国人のためのより質の高い受入環境・体制の整備が急務となっております。

国際拠点空港として、世界の玄関口として、あらゆる面で関西国際空港の持つ潜在能力を引き出し、その魅力や価値を世界トップレベルまで高めることや、重要な成長インフラである関西国際空港が早期復活を果たし、さらに強化されることが求められております。

関西国際空港の機能強化は、観光立国をめざす我が国の成長エンジンとして必要不可欠な課題です。これから日本が少子高齢化人口減少社会を迎える中、観光立国はもちろん外国人労働力の導入等のグ

ローバル化を図ることで日本経済を支え続けていくために、首都圏空港と並び、大阪、関西、そして西日本とアジア各国とのゲートウェイとして、また、我が国の国際ハブ空港にふさわしい国際競争力を備えた24時間国際空港として、再び関西国際空港がその能力・機能を十分発揮できるよう、次のとおり要望します。

1. 国土交通省に対する要望事項について

本協議会は、先般、斉藤鉄夫国土交通大臣に対し、下記の9項目（詳細は巻末に添付）について要望活動を実施したところである。

貴社におかれても、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、これらの要望趣旨を踏まえ、地元市町と連携のうえ、適切な関与に努められたい。

1. インバウンド受入体制の更なる充実について
2. 空港機能の維持・充実及び航空需要の回復について
3. 安全・安心の確保について
4. 航空ネットワークの充実について
5. 観光振興について
6. 関西国際空港へのアクセス強化について
7. 関西国際空港全体構想の早期実現に向けての2期事業
の完全供用について
8. 地元市町への必要な情報提供と国としての適切な関与
について
9. 関西3空港のあり方について

2. 航空需要回復及び増加に向けた取組について

新型コロナウイルス感染症の影響の中、国際線に関しては未だ回復の見通しは立たない状況だが、一方、国内線に関しては感染対策や国内でワクチン接種が進んでいることにより、低水準だが路線再開の動きも徐々に広がっている。

まずは空港での感染拡大を防止するため、国をはじめとする関係機関と連携しつつ、水際対策として検温や、PCR検査に加え、空港内でのマスクの着用や、消毒・清掃、ソーシャルディスタンスを確保した座席の運用など、感染予防対策の周知・徹底を図られたい。

加えて、地元泉州居住者が全体の約8割を占める空港関連企業の全従業員について、本協議会の構成市町においても一部、従業員の一時的な出向の受入を行っているが、国の資金繰り支援制度や雇用調整助成金、家賃支援給付金などを活用し、空港本格再開までの雇用継続の確保ができるよう空港内事業者に働きかけを行い、また、必要なサポートの実施を図られたい。

また、今後の感染拡大を厳重に警戒しつつも、2025年大阪・関西万博の開催等の将来の成長機会を逃すことのないよう、更なる出入国審査官等の増員、バイオカートや先端技術の活用による旅客の手続きの円滑化、高度化等、航空イノベーション推進関連予算の確保などの空港機能強化に向け、関係機関に働きかけられたい。

3. 地元市町と一体となった地域の活性化策について

空港立地に伴う関連地域整備の推進は、地域活性化において極めて重要な課題であり、これまで、国の「関西国際空港関連施設整備大綱」及び大阪府の「関西国際空港関連地域整備計画」等に基づき、空港機能の十分な発揮と併せて地域の均衡ある発展を図る観点から諸施策が実施されてきた。

また、関西国際空港との近接性を活かした観光振興を図るために設立した一般社団法人K I X泉州ツーリズムビューローはこれまで、泉州各地の名所・旧跡、文化・伝統、さらに豊かな自然や食文化等を情報発信するとともに、K I X泉州国際マラソンを開催し、外国人ランナーの誘致を行ってきた。令和3年3月には地域連携型DMOとして登録され、「2025年大阪・関西万博」の開催を視野に、国内外に向け泉州地域の魅力を発信できるよう取り組んでいるところである。

貴社におかれては、これまで築き上げてきた地元泉州9市4町との関係を十分に踏まえ、次の事項について格段の措置を講じられたい。

- (1) 泉州地域の均衡ある発展に向けた地域振興策の推進
- (2) 国内外でのプロモーション活動をはじめ、地元市町が取り組む国際交流事業等、泉州地域の観光振興に資する積極的な支援

4. 災害対策の強化について

関西国際空港の強靱化を図るため、貴社が実施している防災機能強化に関連する工事が引き続き着実に実施されるよう、努められたい。加えて、荒天時の周辺海域における航行制限が確実に運用されるよう、関係機関に働きかけられたい。

5. 航空ネットワークの充実について

関西国際空港が、関西への誘客促進と我が国全体の航空需要の拡大に資するよう、LCC拠点機能の強化、LCCの就航誘致及び欧米路線の更なる拡充等による航空ネットワークの充実並びに羽田線をはじめ国内主要都市路線の拡充等による際内乗継機能の強化に向け、適切な関与に努められたい。

また、貨物ハブ空港としての機能強化、貨物専用機の更なる誘致など、国際競争力の強化に努められたい。

6. 関西国際空港へのアクセス強化について

関西国際空港と大阪都心部とのアクセスの利便性や速達性の向上に向けた、高速アクセス鉄道整備の早期具体化やなにわ筋線の早期整備について、関係機関に働きかけられたい。

併せて、空港機能の一層の充実及び防災機能強化の観点から、空港連絡橋の代替アクセスとしても有効である空港連絡南ルートの実現や、淀川左岸線2期・延伸部及び大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線等の高速道路網のミッシングリンク解消など、幹線ネットワークの整備に向け、関係機関に働きかけられたい。

また、空港アクセス鉄道のダイヤ編成においては、各路線の分岐点である南海本線「泉佐野駅」及びJR阪和線「日根野駅」以南の日常生活の利便性に十分配慮するよう関係機関に働きかけられたい。

7. 関西国際空港全体構想の早期実現に向けての 2期事業の完全供用について

関西国際空港計画時に地元に対し提示された3点セット（空港の全体計画・空港の環境アセス・周辺地域整備の考え方）を踏まえ、将来の需要動向等に迅速に対応できるよう2期事業の完全供用について所要の措置を関係者と共に講じられたい。

8. 地元市町と連携した環境保全・環境監視 の強化について

これまで地元泉州9市4町は、関西国際空港の運営、地域の環境保全、新飛行経路の導入等に関し、全面的に協力してきたところである。

今後も、関西国際空港の運用及び関連事業の実施に伴う環境への影響に関し、格段の措置を講じるなど、環境保全対策に万全を期されたい。

特に、環境監視及び苦情処理体制の強化に取り組まれるとともに、地元市町及び地域住民への迅速かつ正確な情報提供、並びに飛行経路逸脱及び高度違反への迅速かつ厳正な対処など、引き続き新飛行経路導入に伴う「環境面の特別の配慮」の確実な履行及び地元市町への説明責任が果たされるよう努められたい。

また、今後は、地元市町の藻場環境の創造の取り組みをはじめとした生物多様性の保全や環境負荷低減の取り組みに協力いただきたい。

9. 関西 3 空港のあり方について

関西国際空港、大阪国際空港及び神戸空港の 3 空港のあり方については、関西国際空港の国際ハブ空港として平成 20 年に示された「空港の設置及び管理に関する基本方針」及び平成 24 年に示された「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針」に基づき、3 空港それぞれの機能を最大限に発揮できるよう役割分担を明確にし、関西国際空港の国際拠点空港としての機能強化を図りつつ、それぞれの強みを活かした運用をされたい。

泉州市・町関西国際空港推進協議会

会 長	高石市長	阪 口	伸 六
副会長	堺市長	永 藤	英 機
副会長	熊取町長	藤 原	敏 司
監 査	和泉市長	辻	宏 康
委 員	泉大津市長	南 出	賢 一
委 員	岸和田市長	永 野	耕 平
委 員	貝塚市長	藤 原	龍 男
委 員	泉佐野市長	千代松	大 耕
委 員	泉南市長	竹 中	勇 人
委 員	阪南市長	水 野	謙 二
委 員	忠岡町長	杉 原	健 士
委 員	田尻町長	栗 山	美 政
委 員	岬町長	田 代	堯